



プログラミングに挑戦する児童。PCの画面を大型モニターに映して皆に見てもらうこともできます。



互いに教え合いながら、次々と課題を進めていく子どもたち。

1人1台端末を活用した学校教育 ～ 玖珠町版GIGAスクール～

「GIGAスクール構想」によって整備した1人1台の情報端末の活用が、小学校でも始まっています。

情報端末には、AIドリルや思考力パズルなどの教材ソフトをあらかじめ導入しており、これらを利用して、文字入力やタッチパネルの操作に慣れることに重点を置いた取り組みをしています。

また、これまでノートやプリントに書いて提出していた日記や授業のまとめを端末で入力して先

生に送信したり、調べ学習の際に各自の端末でインターネット検索したり、様々な場面での活用を始めています。



習はAIドリルを活用。AIが解答を分析し、個々の理解度に合った問題を出題します。

「未来の地域課題解決を担う人材育成」 有識者会議を開催しました

10月30日に開催した第1回目では、元米Google副社長の村上憲郎氏がオンライン会議システム（Zoom）により参加。

グローバル時代を生き抜くために、英語の重要性やICTを活用した教育のポイントについて助言をいただきました。また、ICT活用・自然体験・郷土教育・地域課題の4つのワーキンググループを設置し、グループごとに今後の方針を決定しました。

第2回目は、12月18日（自然体験・郷土教育・地域課題の3グループ）、22日（ICT活用グループ）に開催しました。

18日は、立教大学教授の阿部治氏による講演があり、持続可能な「地域づくりに参画する人づくり」の観点より、玖珠町の資源の見える化・つなぐ化を進めていくことの重要性や持続可能な地域づくり（地域活性化）の拠点として「玖珠学」センター（仮称）の設置などについて提言があ

りました。

具体的な取組は、グループごとにモデル校を指定し進めていきます。

【ICT教育】塚脇小学校
くす星翔中学校

【自然体験】小田小学校

【郷土教育】森中央小学校

北山田小学校・古後小学校

【地域課題】八幡小学校

また、1月19日から20日にかけて、文部科学省ICT教育活用アドバイザーの新保元康氏が、町内各小中学校を訪れ、教室環境や先生方のICT活用について具体的にアドバイスしていただきました。



第1回有識者会議の様子

新入学児童・生徒の スムーズな就学に向けて

5歳児が学校給食を体験

令和3年度に小学校へ入学する町内認定こども園の5歳児が、11月中旬、森幼稚園で学校給食を体験しました。

小学校の給食を体験することで、入学に向けて期待感をくくらす小学校を身近に感じたり、給食を楽しみにしたりすることを目的に、昨年度から各認定こども園の協力のもと取り組んでいます。子どもたちは初めて食べる学校



みんなで食べる給食はおいしいね！

給食に大喜び。いつもは苦手な野菜も「おいしい！」と言いながらパクパク食べる姿が見られました。また、おはしや牛乳パックの扱い方も、先生の説明を聞きながらチャレンジすることができました。玖珠町では、幼児教育振興プログラムを策定し、幼児教育の充実に取り組んでいます。この給食体験も、その取り組みの一つとして行われています。



順番に並んで給食を受け取ります。

中学生への第1歩 玖珠町立小学校 6年生合同学習

11月26日、くす星翔中学校で町内全小学校の6年生による合同学習が行われました。

この合同学習は、中学校とともに学ば仲間同士であるという自覚を持たせ、お互いの学校や同級生の良さを認め合い、ともに伸びようとする気持ちを育てることを目的として、平成30年度から行っています。

例年学期ごとに1回実施してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染症対策の関係で1学期に実施できず、今回が初めての実施となりました。

町内7校から132名が参加し、始まりは緊張した面持ちでしたが、



集団行動の様子。リーダーの号令で整列します。

前半の体をつくる運動をしながら仲間づくりをする活動、後半のグループごとにリーダーの指示に従って行動する集団行動を行ううちに、緊張もほぐれ、学校の枠を超えて楽しく取り組む姿が見られました。次回は2月に体験授業を予定しています。

森中央小・日出生小も交流学習を行いました

休校により令和3年度から森中央小学校へ通学する日出生小学校児童と、森中央小学校児童の交流学習が、11月24日森中央小学校でありました。一緒に授業を受け、活動する中で、両校の児童は次第に打ち解けてきた様子でした。





玖珠町教育相談センター 「わかくさの広場」

場 所 玖珠町大字森3889番地
(旧 片草小学校)

相談日 月・水・金曜日
(祝祭日・年末年始を除く)

時 間 午前10時～午後5時

電 話 72-4141

対象者 児童・生徒、保護者、
教職員、一般

お子さんのその困り

「わかくさの広場」に相談してみませんか

子どもたちを取り巻く環境は、日々変化しています。

玖珠町教育相談センター「わかくさの広場」では、子どものことで悩みをお持ちの方の相談を受けています。

相談は電話、手紙、来所のいずれの方法でもできます。

教職経験のある相談員が対応し、相談に関する秘密は厳守します。

こんな悩みはありませんか？

- いじめられているようだ
- 学習のつまずきが気になる
- 学校に行くのを嫌がる
- 心と体の発達が気がかりだ
- 友だちとの関わり方が心配

ひとりで悩まず、気軽にご相談ください。

令和3年度就学援助の申請を受け付けています

「就学援助」とは

お子さんの小・中学校への就学にあたり、経済的に困りのお家庭を対象に、就学に必要な費用(学用品費・新入学用品費・給食費・修学旅行費など)の一部を援助する制度です。

◆就学援助を受けられる家庭

- ・玖珠町立小学校・中学校に通学する児童・生徒の保護者で、次のいずれかにあてはまる方で、教育委員会が定める所得基準に該当する方(要保護家庭)
- ・生活保護を受けている家庭(準要保護家庭)
- ・生活保護を受けていないが、それに準ずる程度に困窮していると認められる家庭
- ・保護者の職業が不安定で生活状態が苦しく、子どもの就学に支障をきたしている家庭
- ・その他の理由により収入が少なく、子どもの就学が困難と認められる家庭

◆申請方法

お子さんが在籍する学校に申請書類を提出してください。
※新小学1年生(令和3年度入学予定者)は、教育委員会(役場2階)で申請してください。

◆受付期間

2月19日(金)まで
※締切日以降も随時受付は可能です。

◆支給時期

原則年3回(各学期末)に支給します。

令和3年4月に

小学校・中学校へ入学予定の方

新入学用品費は入学前に

支給を受けられます

「就学援助費」のうち「新入学用品費」は入学前支給が受けられます。ただし、通常の就学援助(学用品費・給食費等)の申請とは別途申請が必要です。

◆申請方法

新小学1年生
教育委員会(役場2階)で申請してください。

◆受付期間

現在お子さんが在籍する小学校で申請書類を提出してください。

◆支給時期

2月19日(金)必着

◆申請方法

令和3年3月中旬予定
※就学援助申請および新入学用品費の入学前支給申請に関する詳しい支給要件や、支給額等の援助内容、申請にあたっての注意事項は、案内チラシ(学校を通じて保護者へ配布)またはホームページをご確認ください。

問

教育政策課 72-1164

～ 角牟礼城跡を紐解く貴重な資料 ～ 詳細な地形データの寄贈を受けました

株式会社コイシ(大分市)から、国指定史跡角牟礼城跡を3Dレーザー計測した画像平面図等のデータを寄贈していただきました。

寄贈を受け1月12日、宿利町長から小原文男社長へ感謝状を贈呈しました。

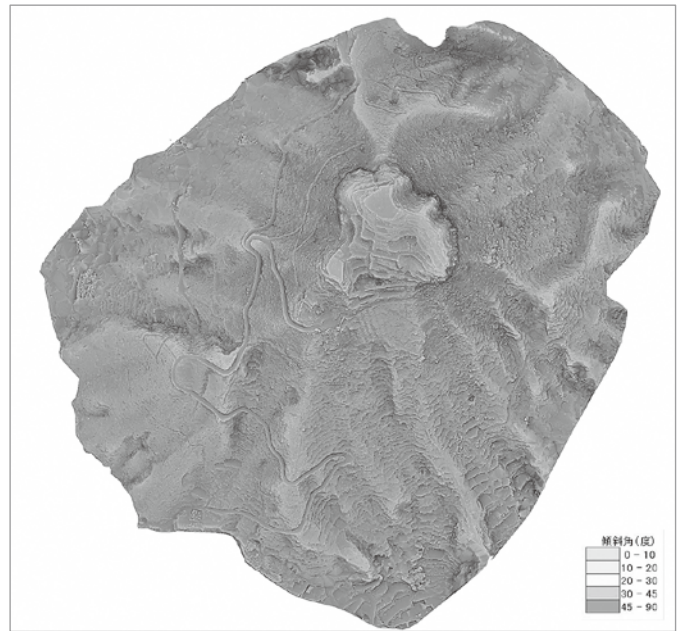
3Dレーザー計測とは、ドローンなど使って上空からレーザー光を照射し、その反射を利用して建物や地形の3次元データを取得する計測方法で、樹木などの影響を受けずに高精度なデータを得ることができる最先端の技術です。

今回の寄贈は、つのむれ会副会長や玖珠町ふるさとガイドを務める久保喜延さん(森・伏原)と小原社長とのご縁から生まれました。現在角牟礼城跡は、保存整備検討委員会の指導の下、城の遺構調査や、崩落が進む石垣の積み直しを進めています。これらのデータにより、城全体の縄張りや地形の詳細な把握が可能となり、角牟礼城がどのような城だったのか、その解明に役立つものと考えられます。

いただいた資料は、豊後森藩資料館(わらべの館内)で展示しています。

(写真) 右から、久保さん、小原社長、宿利町長、梶原教育長。

(図) 3D計測データに基づいて作られた角牟礼城周辺の画像平面図。地形などが一目瞭然です。

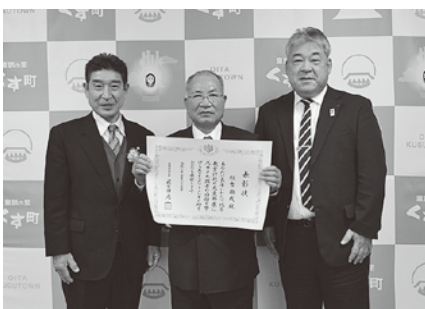


令和2年度 地方教育行政功労者表彰

前教育長 秋吉徹成さん

長年にわたり地方教育行政の充実発展に尽力され、顕著な功績をあげられた方々を文部科学大臣が表彰する「地方教育行政功労者表彰」の受賞者に、前教育長の秋吉徹成さんが選ばれ、1月8日、県庁で伝達式がありました。

秋吉さんは、平成24年12月から令和元年12月までの7年間、玖珠町教育長を務めました。在任中、「くす星翔中学校」の設立、小中学校の学力向上、「久留島武彦記念館」の設立をはじめとした久留島武彦の顕彰など、多岐にわたる取り組みで玖珠町教育行政の充実発展に貢献されました。



町長に受賞を報告する秋吉前教育長
(写真中央)